

各 位

2024年9月11日
株式会社インプレス

生成AIの「なぜ?なに?」からしくみ・活用まで学べる実用書
『ゼロからわかるITほんき入門+マンガ 生成AIのなかみ』を9月11日に発売
13歳から大人まで、IT・テクノロジーを楽しく学べる実用書シリーズ
「ゼロからわかるITほんき入門+マンガ」第一弾

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、知識ゼロから生成AIの仕組みと活用について学べる実用書『ゼロからわかるITほんき入門+マンガ 生成AIのなかみ』を2024年9月11日（水）発売いたしました。



■13歳から大人まで楽しく学べる新しい実用書シリーズ第一弾！

コロナ過によってデジタル化が加速し、私たちの生活やビジネスのあらゆる場面でIT・テクノロジーの重要性がますます高まっています。しかし、「IT・テクノロジーってなんだか難しそう」と感じている方も多いのではないのでしょうか。実際、初心者向けの本を開いてみても、専門用語がたくさんで挫折してしまうことが少なくありません。

そこで、13歳から大人まで、IT・テクノロジーに詳しくない／専門用語がわからない人でも楽しみながら読める、新しい実用書シリーズ「ゼロからわかるITほんき入門+マンガ」を作りました。このシリーズでは、難しい用語を避け、マンガや図解なども使って楽しく・わかりやすく、誰でも「IT・テクノロジーってこういうことだったのか!」と感じられるよう工夫しています。

シリーズ第一弾では、話題の生成AIについて、「どうして?」「なにができるの?」といった疑問に答えながら、その仕組みや活用についてわかりやすく解説します。IT・テクノロジーの世界への一歩を踏み出してみませんか。

■生成AIに対するよくあるギモンとしくみ・活用を明快に解説！

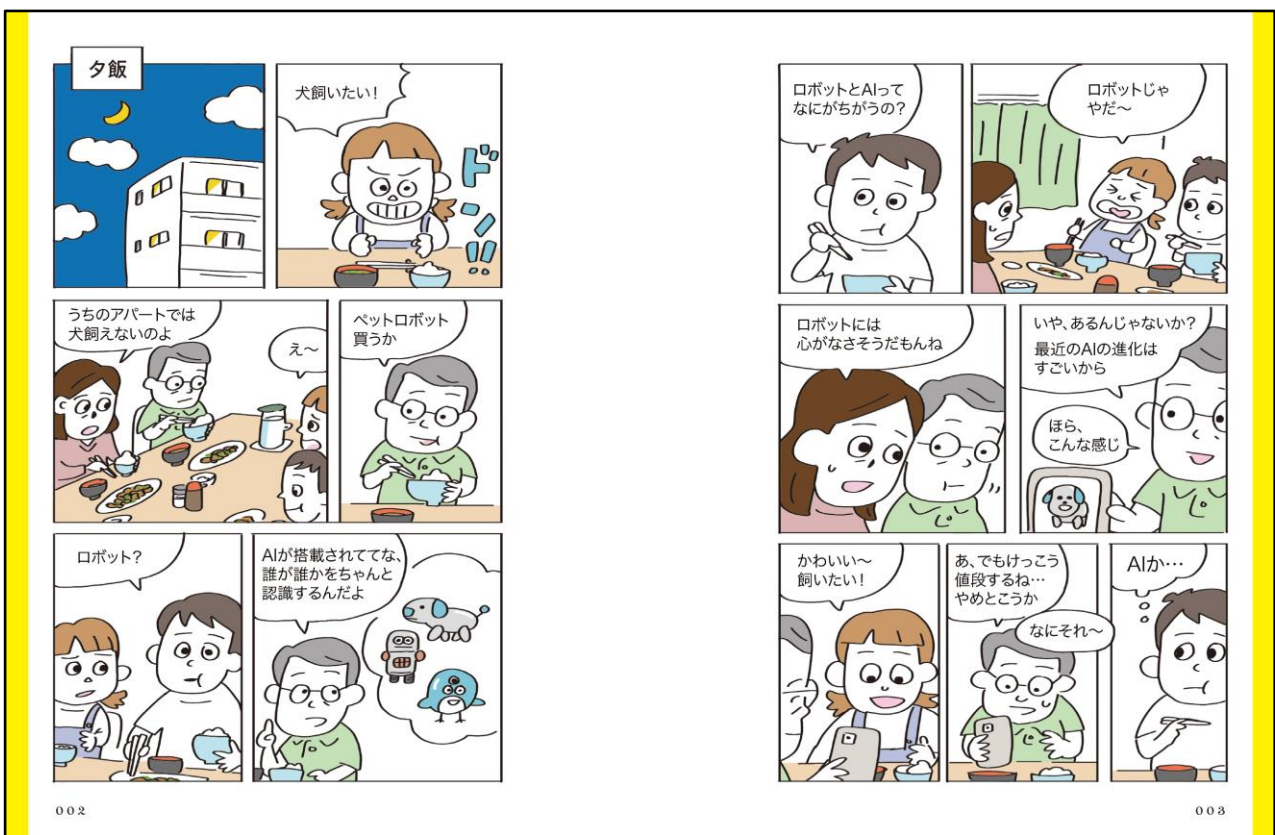
「AIってなに？ AIはどう進化してきたの？」「生成AIってなに？ AIとなにが違うの？」「なぜ生成AIは急激にかしこくなったの？」「生成AIによって私たちの仕事や生活はどう変わるの？」

AIに対して、このような素朴なギモンを抱いている方は多いのではないのでしょうか。本書では、技術部分の難しい説明は極力控えつつ、「これだけは押さえておきたい！」という概念や重要キーワードにしぼり、ITの知識・経験がなくても生成AIの全体像をムリなく学べるようにしています。

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ IT・テクノロジーについて知りたい中高生からノンエンジニアの社会人まで
- ・ 生成AIの仕組みや活用、全体像について知りたい人
- ・ 他のIT入門書で挫折してしまった人

■紙面イメージ



各章のはじめはマンガからはじまります。キャラクター達と一緒に生成AIのなかみを学んでいきましょう

Q AIの進化で未来のくらしはどう変わる?

A

AIの進化で世界はもっとボーダレスになり、個人に合わせたサービスが増えるはず。「いままで難しかった目標にも挑戦しやすい世界」や「1人ひとりの要望や悩みに細かく対応できる優しい世界」が広がるでしょう。一方で、AIに頼りすぎる「AI依存症」のような人が増えるかもしれません。

未来のことは誰にもわかりませんが、AIがさらに進化し、私たちの生活を豊かにしてくれるツールとして浸透すると、さまざまな分野でAIのインフラ化が進みます。すると、AIは空気のように存在感がなくなり、車やインターネット、スマホなどと同じように、日常生活に欠かせないものになるはず。そんな未来では、「ボーダレス化」と「パーソナライゼーション」¹⁾が、世界的にさらに加速していくはず。

●ボーダレス化が進む

AIの進化により言語の壁が低くなり、世界中の人々とさらに気軽にコミュニケーションがとりやすくなるでしょう。ビジネスでは国境を越えた仕事が増え一般的になり、リモートワークやテレワークがさらに広がると考えられます。このように国や人種、年齢、性別といった境界を超えて、世界中の人の交流がますます盛んになるはず。

¹⁾パーソナライゼーション
1人ひとりの働き方やライフスタイル、興味、好み、強みごとなどに合わせて、情報やサービスを最適な形に変えて提供することを指します。

●たとえば、教育分野ではこんな未来が来るかも

<p>現性</p> <p>たくさんの児童・生徒に対して教師が1人付き、同学年が1つの場所に集まって、同じ内容の勉強を同じペースでする学習スタイルが主流</p> <p>ここはもうわかるから、早く次に進んで勉強したいな……</p> <p>こういう問題苦手だから、もう1回ゆっくり説明してくれないかな……</p> <p>体調が悪いから今日は家で勉強したいな……</p>	<p>未来</p> <p>「1人の児童生徒に対してAI教師1人(あるいは数人)」が主流になり、いつでもどこでも自分のペースで学習できるスタイルが当たり前になるかも</p> <p>【こんなことができるようになるかも】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問や疑問にすぐに応じてもらえる ・得意な教科を伸ばしやすくなる ・興味のある分野を深掘りしやすくなる ・苦手な教科を克服しやすくなる ・自分のペースで学習できるので、学習へのモチベーションを保ったままストレスなく学習できる ・日本全国、世界各国の教育機関の講義をオンラインで受けられる ・家にいながら国際的な交流ができる
--	---

●パーソナライゼーションが進む

技術の進歩でパーソナライゼーションが進むと、AIが個々の要望やライフスタイルに合わせて情報やサービスをカスタマイズすることがより簡単になります。その結果、「私好みの超マニアックな旅行プラン」や「私の苦手分野を克服するためのだけに作られた特別な問題集」といった、自分にとって最適なカスタマイズサービスを手軽に受けられるようになります。

ただし、AIの進化が進めば進むほど、選択や決断をAIに委ねる人が増える可能性があります。たとえば、「周りの人が言うことよりもAIの言葉を信じる」といった具合に、視野が狭くなる人が増えるかもしれません。だからといってAIの進化を止めることはできないので、AIに支配されるのではなくAIをうまく使いこなすために、第5章の終わりで述べたような「自分の感性やアイデアを大切に」「柔軟に学び続ける」「倫理観と判断力を養う」といった姿勢を忘れないようにしたいものです(詳しくはp.161へ)。

前半章でAIについての基礎知識を学んだあとは、AIが浸透した未来の生活や仕事などを考察していきます

■本書の構成

- 第1章 そもそもAIってなに?
- 第2章 生成AIってなに? これまでのAIとなにが違うの?
- 第3章 なぜ生成AIは急激にかしこくなったの?
- 第4章 AIにできることは?
- 第5章 なにがどう変わるの? AIとつくる未来のしごと編
- 第6章 なにがどう変わるの? AIと生きる未来のくらし編

■書誌情報



書名：ゼロからわかるITほんき入門+マンガ 生成AIのなかみ
 著者：黒川 なお 著/橋本 泰一 監修
 発売日：2024年9月11日(水)
 ページ数：208ページ
 サイズ：A5判
 定価：1,980円(本体1,800円+税10%)
 電子版価格：1,980円(本体1,800円+税10%) ※インプレス直販価格
 ISBN：978-4-295-020134

◇Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4295020133/>
 ◇インプレスの書籍情報ページ：<https://book.impress.co.jp/books/1122101162>

■著者

黒川なお(くろかわ なお)
 ライター。近畿大学生物理工学部卒、横浜国立大学大学院(MOT:技術経営)修了。

2017年にフリーランスとして独立。マネジメントからテクノロジー、マーケティング、コミュニケーション、教育、ライフスタイルにいたるまで幅広く取材し、書籍や雑誌、Webマガジンなどで構成・執筆を手がける。取材対象の魅力や本質をわかりやすく伝える構成力・文章力に定評がある。近年は作家として絵本の構成・執筆にも携わっている。

■監修者

橋本 泰一（はしもと たいいち）

2002年東京工業大学 大学院情報理工学研究科 計算工学専攻 博士課程修了。博士（工学）。

2002年より東京工業大学 助手および特任助教授（特任准教授）として自然言語処理の研究に従事。

2012年よりグリー株式会社、2014年よりLINE株式会社に在籍。ビッグデータ分析プラットフォームやスマートスピーカーを開発。

2021年より株式会社RevCommで、AI技術を利用した音声認識、音声合成、対話解析の研究をリード。

著作実績に『データ分析のための機械学習入門 ～Pythonで動かし、理解できる、人工知能技術～』（SBクリエイティブ）がある。

情報処理学会、人工知能学会、言語処理学会、音響学会、各会員。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。